

令和8年4月29日

学校部活動顧問・クラブ代表者 様

都城市バドミントン協会

理事長 永田 幸貴

日頃より、本会の活動や試合に参加いただき、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援とご協力に、深く感謝申し上げます。

4月11日（土）に開催させて頂いた大会において、参加選手全員にゼッケン着用を求める提案が参加クラブの代表者よりなされました。

通常であれば、参加者全員の着用が望ましいのですが、バドミントンに取り組む経験の一つとして参加する選手もいると考えます。クラブ、保護者の考え方もありますが、協会としては柔軟に対応したいと考え、すべての選手へのゼッケン着用は求めません。選手の入替わりなどが指摘されますが、各クラブ代表者、保護者の倫理観の問題です。違う名前でも出場させられる選手の心に、どのような傷を負わせるのか考えてみてください。当然のこと大会開催時、終了後も含め発覚した場合には、クラブ、参加選手に対して厳正な処分を下します。

大会開催時の競技上の注意に関して

1. 公益財団法人日本バドミントン協会現行の競技規則、及び以下に記載されている本大会の規定により行う。その他の事由については、本部にて協議する事とする。

の『公益財団法人日本バドミントン協会現行の競技規則』の部分を削除し、都城市バドミントン協会独自のルールで行うことも検討しましたが、ゲームに関する競技規則の関係もあり、今後も文言を変えずに記載することもあわせて決定しました。この件に関しては、上部団体役員（審判部）へ確認をとり、『地域大会においてはゼッケン、競技上の注意文言に関しても、問題はありません。』との回答を得ています。

今後とも本会活動に関して、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。